

科目	作業療法評価学実習	担当	富山 直輝	履修学年	2年
時間数	90分×時限×24回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

本科目では、作業療法評価学で修得した検査・測定項目に加えて、新たな項目の講義と実習を行う。さらに、対象者への説明、安全性への配慮、評価結果の解釈などについても考える機会を設け、臨床実習に向けた評価技術の基本的能力を身につける。到達目標は、1)検査・測定に必要な知識を理解し、実施できるようになる、2)適切な説明と安全面に配慮した評価実施ができるようになる、3)評価結果を解釈し説明ができるようになることである。

**【履修注意】**

- ・集中して安全に実施するために身だしなみを整えて授業に臨むこと(爪を切る、長い髪は束ねるなど)
- ・検査・測定を実施するため、実技を取り入れながらの講義形態になるので知識と技術の統合を意識して取り組むこと。

なお、予定を変更することがある。

**【評価方法】**

実技試験 5割、小テスト 5割で総合的に評価する。

**【試験について】**

- ・小テストおよび実技試験を実施する。
- ・再試験対象者の条件:小テストと実技試験を個別に実施、小テストおよび実技試験各6割未満

**【予習・復習】**

- ・本科目は1単位科目であるため、講義以外に45分の自主学習が必要となる(文部科学省指針)。
- ・生理学、解剖学、運動学、神経病学などの関連科目の予習・復習(45分程度)を行うこと。
- ・各項目の終了毎に、小テストによる知識の確認を行う。

**【教科書】**

書籍名:新・徒手筋力検査法 著者:Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery出版社:協同医書出版  
 書籍名:「ベットサイドの神経の診かた」 著者:田崎義昭・斉藤佳雄 出版社:南山堂(購入済み)  
 書籍名:作業療法評価学<標準作業療法学 専門分野> 著者:岩崎テル子ら 出版社:医学書院(購入済み)

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1・2	反射	反射の種類, 深部腱反射, 表在反射, 病的反射, 記録方法, 検査方法
3・4	筋緊張と片麻痺の検査	筋緊張の状態, 片麻痺の機能検査・総合評価
5・6	バランス機能検査	重心, 支持基底面, 臨床的バランス機能評価
7・8	脳神経検査	脳神経の種類, 検査方法, 記録方法
9・10		
11・12	生活行為向上マネジメント	ツールの開発経緯, シートの活用, 事例への応用
13・14	徒手筋力検査法1	徒手筋力検査の原理, 肩甲骨
15・16	徒手筋力検査法2	肩関節
17・18	徒手筋力検査法3	肘関節, 前腕
19・20	徒手筋力検査法4	手関節, 手指, 股関節
21・22	徒手筋力検査法5	膝関節, 足関節
23	徒手筋力検査法6	頸部, 胸部, 腰部
24	実技試験	